

平成 29 年 1 月

## 「全国の受験生へのエール」交換（抜粋版）

### ～ 過去は変えられないが、現在と未来は変えられる ～

平成 22 年 1 月に始めた試みが 8 年目を迎えました。ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。今年は 17 県 28 校 39 名からいただきました。A 4 判で 15 頁です。

ホームページ掲載用は、校名とお名前を省き、各県 1 名に限定しての紹介とさせていただきます。

神奈川県立秦野高等学校 校長 神戸秀巳

#### 【青森県 A 様】

暑くても寒くても、毎日、毎日、ただ前だけを向いて頑張ってきた。

私たちは、君たちの様々な表情や姿を見てきた。目に涙を浮かべ、悔しそうに唇を噛みしめる人。不安そうな曇った表情。眠そうな顔。やる気に溢れている顔。わかったときのうれしそうな笑顔。

共に喜び、共に苦しみ、ここまで歩んできた。あと少し、共に頑張ろう。

今、君たちの背中にありったけの力を込めたエールを送る。不安を和らげ、気持ちを落ち着け、程よい緊張感を持って試験に臨もう。大丈夫、いつだって応援しているから。

#### 【宮城県 B 様】

##### 「扉（とびら）」

私たちの前には、目には見えない無数の扉がすべての瞬間、立ちはだかっている。どの扉に手をかけるのかは、自分自身の選択であり、その連綿と続く選択肢を振り返れば、自ずと自分の人生となる。だからこそ、決して後悔しない扉に手を掛けることを忘れてはならない。

しかし、時に自分の力だけでは開けることの出来ない扉もある。もう一押しすれば開くのかも知れないし、それでも開かないこともある。その瞬間、人は 2 つの選択に迫られる。手助けを呼ぶ者、一方で開け易そうな別の扉に移る者、どちらも正解である。君たちを応援する家族は勿論、他にも沢山いることを忘れてはいけない。また、別の扉に移ったとしても恥じる必要は無い。

人生には正解ない。但し、手を掛ける扉は後に歩む道の分岐点となることから、決して後悔しない選択をする必要がある。

君たちはその扉を前に悩んでもよい、しかし、迷ってはいけない。それを手助けするために、私たち教師はいるのだから。

#### 【秋田県 C 様】

##### 受験生の皆様へ

センター試験を受験することが目的ではなく、自分の目指すもののために受験するはず。

そうであってもセンター試験が壁であることには変わらない。

壁の向こうに行かない限り、自分の目指すものには近づかない。

ならば、格好つけずにどうにかして超えよ。

あがいて、あがいて、壁に向こうに行け。  
壁の向こうには次のステージが待っている。  
納得して次のステージに行け。  
そのために、あがけ、あがけ。  
泥臭く、あがけ。  
がんばれ、がんばれ。

### 【福島県 D様】

忘れてはならない。  
共に闘う仲間がいることを。  
君を支え続けてくれる人がいることを。



### 【茨城県 E様】

いよいよ勝負の大舞台。ここまできたら「できること」しかできません。「できないこと」はできません。ならば、なんとしても「できること」をすべて得点につなげなければなりません。最後の1秒まで全身全霊をかけて戦いきる。わからない問題もなんとか解答のための糸口を探り、出来たと思った問題でもミスや勘違いがないかの見直しを徹底すること。そうやって、粘り強く、集中・執着して、搾り取った1点が「合格を決める1点」になる。

根性だけでは受かりませんが、根性がなければ受かりません。最後に勝負を分けるのは、執念です。もう一回言います。最後に勝負を分けるのは、執念です。

### 【埼玉県 F様】

#### 「汲んでも汲んでも湧き出でる力」

ハーバード大学で数学を講義し、世界で活躍した広中平祐先生が若者に熱く語りかけた言葉があります。「人は汲んでも汲んでも泉のように湧き出でる力を持っている。機械はどんなに性能がいいものでも、使えば摩滅する。使えば使うほど自然に機能が高まる機械は存在しない。しかし人は違う。頭は使えば使うほどよくなる。今日これだけ使ったから、明日はもう使えないということはない。人の脳は膨大なゆとりをもって機能している。人の脳が湧源であることはここにある」と。脳が有する湧源性は努力によって活性化されます。期待や希望が大きければ大きいほど、使命感や責任感が強ければ強いほど、この力は強く刺激され自分自身の中で強く大きく養われます。

皆さんは受験に備えて準備を怠らず積み上げてきました。長く苦しい努力をやり遂げてきたのは目指す大学、取り組みたい学問、その先にある人生をかけて取り組む仕事があるからです。受験は高校生が挑む崇高な取組です。広中先生は若者が挑戦する崇高な取組にこそ、汲んでも汲んでも泉のように湧き出でる力が養われると語っています。皆さんは受験を通して人の持つ大きな可能性を養っているのです。皆さんのご健闘を祈ります。

## 【神奈川県 G様】

### 応援してくれる人のパワーを感じて

いよいよ、センター試験まで 10 日あまりとなりました。私は大学生のときに、事情があつて、学費も生活費もアルバイトでまかない、勉強は授業の空き時間でする生活でした。苦しくなかったかといえば嘘ですが、大学の教授や、アルバイト先のパートの方にとても親切にしてもらい、卒業の年を迎えました。教員採用試験の勉強も、アルバイトと修士論文を書きながらでしたが、何とか合格することができたのは、赤の他人の私に「うちの長女だから」といって、夕飯を用意してくれたパートの方や、「プログラミング教育を高校生にも伝えて欲しい」と応援してくれた教授のおかげだと思っています。私は、常に誰かに助けられて生きてきて、盆暮れのご挨拶以外ご恩返しもできないままですが今でも支えてくれる人たちがいます。人生の勝負どころでは、必ずその方たちのパワーをいただいて乗り切つて来ました。皆さんも、今まで勉強に打ち込めたのは、周りの人たちの応援のおかげだと思います。一人で勝負するのではなく、皆さんを応援してくれる人たちのパワーを感じて頑張ってください。

## 【新潟県 H様】

私は保護者会や面談のとき、保護者の方に必ず、子どもたちに朝食を食べさせてください、と言っています。やっぱり、一日の力の源である朝食は大切です。もちろん、何を食べるか、何が自分にとってベストかは、人それぞれでしょう。

おいしく朝ごはんを食べられるということは、受験の半分を成功しているということです。上手に作ってくれる人がいるのか、それとも、満たされる朝食の食べ方、食べる場所を知っているか、理由は様々かもしれませんが、いずれにしろ幸せなことです。

そこからさかのぼれば、すっきりと早起きできたら、それだけで受験の半分が成功って言えるかもしれません。すっきり起きれないと、健全な食欲も湧かない。さらに考えれば、夜遅くまで起きていて、だらだら食べている習慣なんかがあると、朝の食欲にも影響するだろう。

一日のスタート、朝は大切だ。受験生として、支えてくれた周囲へ感謝の気持ちを持つことも大切なことですが、まだ、そこに至らない場合は、せめて朝食をしっかりとりよう。それが、今のあなたをひとつ大人にします。

今日も、頑張ろう！

## 【岐阜県 I様】

### 知性と人生を感性によって飛躍させよ

センター試験を間近に控えた今、ほとんどの諸君が受験勉強に向かい磨きをかけているに違いない。若き頃は、何に対しても未熟で、必死になることが成長する原動力である。そんな必死になっているときにも、必ず感性が存在する。

感性にはいろいろな側面を有する。そして、備う五感の感性をフル活動させて人は最大の力を発揮するのだ。

「苦しさを、受け入れなければいけない。」この思いは、キミの将来を柔軟にしてくれる。直近では、当日の緊張感をほぐしてくれるかも知れない。

「苦しさを、乗り越えればきっといい未来がある。」この思いはキミの未来の夢を無限にしてくれるかも知れない。

「冷静に、慎重に進んでいかなければ。」この思いは、キミの素直さを表しているかも知れない。

感性はそれぞれ違うものだ。いろいろな経験の中で、感じ取ったことを大切に受け止めて、更なる経験に挑戦することは、知性と人生を大きく飛躍させることにつながると確信している。

今、感性は最大に満つることを迎えている。

## 【静岡県 J様】

### 「受験生のみなさんへ」

質問です。

あなたは今の自分に「誇り」を持っていますか？

「持っている」と思った人、間違いではありませんが正解ではありません。

「持っていない」と思った人、正解です。

「誇り」は「がんばりぬいた先」でしか持つことはできません。

今のあなたは「がんばっている」途中です。

「がんばり抜く」そのプロセスがあなたを「誇り高い人物」に変えていくのです。

その「誇り」こそが豊かな人生を送る鍵です。

「誇り高く、豊かな人生」を送るために、今をがんばりぬいてください。

あなたの人生は、あなたが作り上げるのです。

## 【愛知県 K様】

### 「Finishing strong!!」～受験を全力でやり抜こう～

いよいよセンター試験間近となりました。高校3年間の集大成として、これまで積み重ねてきた努力の結果を100%あるいはそれ以上発揮していきたいですね。

先日、本屋で平積みになっていた「GRIT(グリット)」というタイトルの本に力を発揮するヒントが隠されていました。「GRIT」は日本語で「やり抜く力」と訳されます。

ペンシルベニア大学のアンジェラ＝ダックワーズ教授の研究によると、ビジネス・スポーツ・芸術・学問など異なる分野における第一人者や天才と呼ばれる人々は皆「やり抜く力」が普通の人よりも高いそうです。そして、「やり抜く力」は目的に対する「情熱」とその達成のために「粘り強く」取り組む続けることであるとダックワーズ教授は著書の中で述べています。また、この本には、「やり抜く力」の伸ばし方も具体的に書かれています。その中で、NFLの強豪チームであるシアトル＝シーホークスに対する取材の様子が載っていました。

「中途半端は許さない」「なにをやるにも最善を尽くせ」「シーホークスの一員であることを一瞬も忘れるな」「ポジティブな言葉で考えろ」「チーム第一」…(中略)…なるほど、わかってきた。このチームにとっては、ただほかのチームに勝つだけでなく、明日の自分が少しでも進歩しているように、今日の自分の能力を伸ばすことが大事なのだ。…(中略)

…「我々の信念のひとつに、『Finishing strong』という考え方があるんです」シーホークスは、どの試合でも最後まで全力を尽くす、最後の一秒まで全力でプレーする、さらにシーズンの最後まで全力を尽くす、練習のたびに全力を尽くす、という意味だ。「でもなぜ『最後まで全力を尽くせ』なんですか？『最初から全力で当たれ』でもよさそうですが」私は質問した。「そうですね」コーチが答えた。「最初に全力を出すのは簡単ですから。それにシーホークスで言う”フィニッシュ”はたんに最後のことだけじゃないんです。」もちろん、そうだろう。「Finishing strong」は、最初から最後までずっと集中し、どの瞬間もベストを尽くすという意味なのだ。…(後略)…

『GRIT やり抜く力』(ダイヤモンド社 2016)349-353ページより抜粋

どうですか？来るべき入試本番，そして，高校卒業後により成長し，成功を勝ち取るための秘訣が詰まっていますか？『Finishing strong』の気持ちを持って取り組み，受験をやり抜いていきましょう！

### 【三重県 L様】

#### 「受験生のみなさんへ」

いよいよ、勝負の時を迎えます。覚悟はできているでしょうか。

心配や不安に押しつぶされそうになる心境かも知れませんが、心配し、不安になるということは、それだけ自分自身と真剣に向き合っているということです。自分自身を信じ、これまでの努力を信じましょう。

今後の生活で重要になるキーワードは、「思考・判断・表現」です。入試でも同じです。出題される問題に対して、自分自身を「表現」するために、「思考」し、「判断」しましょう。様々な課題を解決するために「思考」し、解決方法を「判断・表現」しましょう。培ってきた「思考力・判断力・表現力」を、存分に発揮してください！！みなさんの心よりお祈りしています。

### 【兵庫県 M様】

「言葉の前に心あり。

言葉のあとに誠実な行動あり。

心の目を開いてこそ、信念を持って生きることが できる。」

受験という一大イベントを通して、何を学ぶかが、どこに進学したかよりも100倍大切です。「心の目」を開いて、本当に大切なものは何なのかに気づくことが、その後の人生に大きな影響を与えるでしょう。

### 【島根県 N様】

#### 宮本輝の「彗星物語」より

ぼくを日本に呼んでくれた人の家族は、ぼくにすばらしいことをたくさん教えてくれたが、そのなかで最もすばらしいことは、マラソンでゴールまであと五メートルのところまでたどりついて、<さあ、これからだ>と考える心だ。ゴールをすぎるまでは何が起こ

るかわからない。どんな状況にあっても<さあ、これからだ>と考える心を、ぼくは日本の家族から教えてもらった。

受験生のみなさん、<さあ、これからだ>

## 【岡山県 ○様】

### 「希望を語ろう」

受験生のみなさん、試験本番が近づき「いよいよ」という気持ちと「大丈夫かな？」という気持ちの両方が出てきているのではないかと思います。不安な気持ちが強くなってくると、自分だけが苦しい思いをしているのではないかとマイナス思考に陥りがちです。

そのとき、考えて下さい。

「なぜ、受験勉強をしているのか？」 「なぜその学校に行きたいのか？」

「将来どうなりたいのか？」 「将来したい仕事で喜んでくれる人は誰なのか？」

あなたが受験を乗り越え、それぞれの希望を叶えることで喜んでくれる人は数多くいます。その人たちのために、そして自分のために希望を叶える必要があります、叶えるためには今努力する必要があります。

日本を代表する作家井上靖はこうも言っています。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」

マイナス思考にならず、希望を叶えるために今できることを積み重ねてください。

みなさんの健闘を祈ります。

## 【広島県 P様】

### 「神ってる」

私は生粋の広島っ子で、物心ついた時からのカープファンです。カープといえば 2016 年の新語・流行語大賞の年間大賞に「神ってる」が選ばれました。授賞式に登場した鈴木誠也選手は、まさに神がかり的な活躍をして 25 年ぶりのセ・リーグ優勝に貢献したのですが、彼のプレーは決して神頼みだったわけではありません。それを示すエピソードとして次のようなものがあります。

セ・リーグを制覇したカープはクライマックスシリーズも勝ち抜いて日本シリーズに進出しますが、鈴木選手の打撃不振などによりなかなか力を発揮できませんでした。そして大谷翔平選手らを擁する強力な布陣の日本ハムに敗れるわけですが、なんと鈴木選手は、シリーズ敗退後にもかかわらず、最終戦の試合後に球場横の屋内練習場で鬼気迫る形相でバッティング練習をしていたそうです。試合での悔しさを胸に練習に励み、その悔しさをまた試合で晴らしていくというのが、彼の野球選手としてのスタイルであり、そんな彼に「神ってる」活躍がもたらされたのではないのでしょうか。

このエピソードから、いついかなる時でも自分のスタイルを貫く頑固さ、目標達成に向けた粘り強さ、さらに高いところを目指してあきらめずに挑戦し続けるといったことが教訓として得られるのではないのでしょうか。

同じことが受験生諸君にも言えると思います。どんな難問に直面しようとも、自分を信じて、最後まであきらめずに自分のスタイルを粘り強く続けてみてください。そうすれば、きっと君たちの未来も大きく開けてくることでしょう。

「神ってる受験生」諸君の健闘を心から祈念いたします。

**【香川県 Q様】**

受験生の皆さん

発明王トーマス・エジソンは、次のような言葉を残しています。

Many of life's failures are people who did not realize how close they were to success when they gave up.

(人生に失敗した多くの方は、諦めたときに自分がどれほど成功に近づいていたか気づかなかった人たちだ。)

「トーマス・エジソン 英語の名言 <http://iyashitour.com/archives/28321/2> 」より  
「合格」の扉を開けるのは、あなたの「諦めない気持ち」です。

すべてのエールをまとめ、ご協力いただいた各高校にお送りしました。  
各高校で活用されます。ご協力ありがとうございました。